

1年次 基礎的な看護知識を身につけ、専門的な学修への基礎を固める。

看護専門科目群

必修科目
 基礎看護学概論
 ヘルスアセスメント
 看護援助Ⅰ
 看護援助Ⅱ
 基礎看護学実習Ⅰ※
 成人看護学概論

リプロダクティブヘルス看護学概論
 地域の健康と看護Ⅰ
 精神看護学概論
 在宅看護概論

大学入門講座

大学入門講座は大学生活への適応を促進し、自己教育力を高めることを目的として、1年次の前期に開講されます。この授業を通して、医療や保健、福祉などの領域で活躍する将来の自分のイメージと大学生としての現在とのつながりを明確にしていきます。



看護の基礎科目群

必修科目
 身体の構造・機能Ⅰ(基礎編)
 身体の構造・機能Ⅱ(系統別)
 身体の構造・機能Ⅲ(構造・機能測定法)
 生化学
 医療栄養学
 薬理学
 病態学
 感染と免疫
 疾病治療論Ⅰ(呼吸・循環器系)
 疾病治療論Ⅱ(消化器・内分泌系)
 公衆衛生学



ヒューマンケアの基礎科目群

必修科目
 ヒューマンケア概論
 いのちと倫理
 心理学
 化学
 生物学
 統計学入門

大学入門講座
 情報学基礎
 看護とキャリア
 英語Ⅰ
 英語Ⅱ

選択科目
 沼津の歴史と文化
 法学(日本国憲法を含む)
 社会学
 教育学
 生活科学
 医療の歴史
 生活と芸術
 スポーツ健康科学Ⅰ

スポーツ健康科学Ⅱ
 数学の基礎
 物理学入門
 情報処理
 手話入門
 フランス語
 ドイツ語

2年次 いよいよ専門領域へ。人間の健康と病気について理解する。

必修科目
 看護倫理
 看護援助Ⅲ
 看護実践方法論
 基礎看護学実習Ⅱ※
 小児看護学概論
 小児看護学援助論
 成人看護学援助論Ⅰ
 成人看護学援助論Ⅱ
 高齢者看護学概論

高齢者看護学援助論
 リプロダクティブヘルス看護学援助論
 地域の健康と看護Ⅱ
 家族看護論
 精神看護学援助論
 在宅看護援助論
 看護カウンセリング

選択科目
 産業看護論Ⅰ
 学校保健活動論

▼保健師課程を履修するために必要な科目

産業看護論Ⅰ
 学校保健活動論

高齢者看護学援助論

高齢者看護学では、高齢者の安全・安楽な自立した生活を支援するために、老年期の特徴や健康課題をアセスメントするとともに、必要な看護の技術を学びます。



必修科目
 疾病治療論Ⅲ(筋骨格系) 疫学
 疾病治療論Ⅳ(小児科系) 看護関係法規
 疾病治療論Ⅴ(精神・神経系) 保健医療福祉行政論Ⅰ
 疾病治療論Ⅵ(泌尿器・産科系) 社会福祉概論

選択科目
 医療工学入門
 健康障害の回復と支援
 保健統計
 医療経済入門

▼保健師課程を履修するために必要な科目

保健統計

必修科目
 実践医療英語Ⅰ
 コミュニケーション論

選択科目
 哲学
 比較思想
 実践医療英語Ⅱ

POINT

ここでは、看護師・保健師に必要な、看護を求めらる人々にしっかりと寄り添う「心」を養います。

3年次 高度な看護理論と臨地実習で、看護職としての専門性を深める。

必修科目
 小児看護学実習※
 成人看護学実習Ⅰ※
 成人看護学実習Ⅱ※
 高齢者看護学実習Ⅰ※
 リプロダクティブヘルス看護学実習※
 急性期看護論

慢性期看護論
 回復期看護論
 看護学援助論
 地域包括ケア概論
 精神看護学実習※
 地域・在宅看護実習※
 看護研究方法

選択科目
 公衆衛生看護学概論

(定員20名以内) 選択必修

公衆衛生看護活動論
 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ
 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ
 公衆衛生看護学演習Ⅰ
 公衆衛生看護学実習Ⅰ※

4年次 今までの学びを統合し、看護の総合力を高める。

必修科目
 高齢者看護学実習Ⅱ※
 ヒューマンケア看護研究
 ヒューマンケア総合演習
 看護統合実習※
 医療安全論

選択科目
 地域母子保健
 産業看護論Ⅱ
 看護管理
 医療関係職種連携論
 医療政策論入門

感染看護
 がん看護
 救急看護
 災害看護
 国際保健・看護

(定員20名以内) 選択必修

公衆衛生看護学演習Ⅱ
 公衆衛生看護管理
 公衆衛生看護学実習Ⅱ※

終末期看護論

終末期におけるQOLを維持・向上させるための援助、生活上のニーズへの援助、全人的苦痛を緩和し、その人らしく最期まで生きていくための援助について学びます。様々な事例をもとに終末期にある患者・家族への思いやりのある関わりとは何かを考えます。



選択科目
 保健医療福祉行政論Ⅱ

公衆衛生看護活動論

保健師には、地域住民の様々な健康問題の支援に向けて、問題をかかえる個人だけでなく、個人を取り巻く家族や職場、学校、近隣住民などにアプローチすることが求められます。この科目では、地域における個人、家族、集団、組織の健康ニーズを見だし、それぞれのニーズに応じた公衆衛生看護活動の実践について学びます。さらに、人々のライフサイクル、感染症や難病等の健康課題ごとのヘルスニーズを把握し、法律や制度に基づき、展開される公衆衛生看護活動の実践と公衆衛生看護活動の必要性を学びます。



選択科目
 遺伝と健康
 先進医療
 労働衛生関係法規

ヒューマンケア看護研究

学生個々が興味・関心を持ったテーマについて、看護研究のプロセスに沿って研究を実践します。学生が選択した領域ごとに集まり、少人数のゼミ形式で行います。研究テーマの設定、文献検討などを経て、最終的には研究論文の作成を試み、看護研究方法の実際を学習します。

